

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	次世代排水システム小委員会	主 査 名：坂上恭助 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 建築設備運営委員会	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：羽山広文
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>小径排水システム（サイホン排水方式、圧送排水方式等）、自封トラップ等を検討すると共に、建築的および環境的な優位性を評価し、次世代排水システムとしての位置づけを明らかにすることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度（2009 年度）は、本システムの革新性・優位性を評価する。 ・2 年度（2010 年度）は、本システムの設計・施工指針の限定素案をつくる。 ・3 年度（2011 年度）は、本システムの設計・施工指針（案）を策定する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	坂上 恭助 (明治大学), 古賀 誉章 (東京大学), 丸山 秀行 (ブリヂストン), 安孫子 義彦 (ジェス), 飯塚 宏 (日建設計), 石村 修一 (旭化成ホームズ), 門脇 耕三 (首都大学東京), 小池 道広 (長谷工コーポレーション), 小寺 定典 (日本総合住生活), 佐野 武仁 (昭和女子大), 下田 邦雄 (給排水設備研究会) 須賀 良平 (クボタシーアイ), 高津 靖夫 (芝工業), 早川 和夫 (戸田建設) 本多 勝美 (大林組)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械排水設計 WG：機械排水システムの課題等について明らかにし、設計ガイドライン案を作成する。 ・ サイホン排水設計 WG：サイホン排水システムの検討事項を明らかにし、設計ガイドライン案を作成する ・ 次世代排水システムの適用 WG：次世代排水システムの建築物への適用の可能性について検討し,明らかにする 	
2011 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	計 4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1 .
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本システムの適用条件等を討議・まとめた。→達成度 90% 2. 設計・施工ガイドラインの素案を作成した。→達成度 80% 3. 震災を受け、自立給排水システムのあり方を検討した。(当初計画になし)
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイドライン案策定に注力し、シンポジウム等の対外的な活動がなかった 2. 空衛学会や海外の規準との整合性を図るのが難しい 3. 建築計画研究者・建築意匠設計者のさらなる参画が望まれる